

## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年3月8日  
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30 ~ 13:30  
例会場 刈谷市新栄町3の26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL (0566)22-2111  
FAX (0566)25-2111  
メール kariyac@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 太田 宗一郎  
幹事 杉浦 文雄  
会報委員長 小川 耕示

2010 ~ 2011年度 国際ロータリー Ray Klinginsmith (レイ・クリンギンズミス) 会長テーマ

Building Communities Bridging Continents 地域を育み、大陸をつなぐ

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第2704回例会プログラム

[当年度=23回目; 当月=4週目]

2011年(平成23年)1月24日(月)

## 1. 例会……………〈司会:プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム  
12:30 2. 点鐘……〈会長〉  
3. 開会宣言  
4. ロータリーソング斉唱……日も風も星も  
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
6. 食事

- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告  
8. 幹事報告  
9. 出席報告  
10. 委員会報告  
11. ニコニコボックス報告  
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(1/31) ……クラブフォーラム  
(ロータリー情報委員会)  
卓話 「ロータリーを知ろう」  
講師 地区広報委員会  
委員長 裕 伸夫 様  
(豊田西 RC)  
(紹介者 鈴木文三郎 会員)  
(2/7) ……

- 卓話 「物づくりと刈谷工業高校」  
講師 刈谷工業高等学校  
校長 鈴木 直樹 様  
(紹介者 渡辺 富香 会員)

- 13:00 13. 本日のプログラム  
卓話 「セントレアの現状と課題」  
講師 中部国際空港株式会社  
取締役会長 平野 幸久 様  
(紹介者 橋 典子 会員)

14. 謝辞  
15. 点鐘……〈会長〉  
16. 閉会宣言

13:30 17. 散会

## ゲ ス ト

中部国際空港(株) 業務推進本部  
総務室秘書 小林奈津子 様

## 出 席

会員総数 90名 出席免除 25名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 79名  
欠席 6名 出席率 92.41%  
前々回(1/7)の修正出席率 100%

## 会 長 報 告

- 1) 1月度ゴルフ例会が20日三好カントリークラブで開催され、アウト39イン47グロス86で深谷稔彦会員が優勝されました。  
2) 1月22日三浦恭嗣会員がご逝去されました。心よりおくりやみ申し上げます。

## 幹 事 報 告

- 1) 2月のロータリーレートは1ドル84円です。よろしくお願ひ致します。

## 大地震

太田宗一郎



1月17日は阪神淡路大地震が発生して16年となりました。その時には六千人を超える人命が失われ多くの建物が倒壊し、ライフラインも寸断されるなど、戦後生まれの私にとっては想像を超えた被害でありました。そして避難生活においても寒い時期

でもあり体調を崩すお年寄りの方が沢山おみえになりました。そしていまだに其の時の心の傷の癒されていない方々が多くお見えになります。そして、その後の16年の間にも世界中で多くの地震が発生しており甚大な被害をこうむっております。

私たちの住んでいる東海地方は東海沖地震、東南海沖地震が何時起こるかもわからないところまで来ており、30年以内に発生する確率が非常に高いといわれております。なおかつ、東海沖地震と東南海沖地震が同時に発生する可能性も秘めております。また南海沖地震も関連して起こる可能性があるとも言われております。

私たちの防災に対する心構えやその準備は出来ておるのでしょうか？防災グッズ（非常持ち出し袋）は準備できていますでしょうか？非常食は用意されていますか？非常食の有効期限は切れていませんか？避難場所はわかっていますか？家族との連絡方法は決まっていますか？従業員の安全に対してどのように対処しますか？従業員の帰宅の方法は？怪我をしたときの応急処置の方法は？まだまだ確認しなければならないことや用意しなければならないものが沢山あります。

大地震が発生したならばまず第1に自分の身の安全を確保し、その上で家族の身を守っていかねばなりません。そして廻りの人たちの安全とその確認もしなければなりません。そしてお互いに助け合わねばなりません。

先週の例会で「刈谷市の防災に対する取り組み」について市長からお話がありましたが、刈谷市の災害対策本部となる刈谷市役所も立派に完成致しました。阪神淡路大震災のような大きな災害に見舞われた時には災害対策本部によって、本部の指示や救援の手がさしのべられます。しかし対策本部の救援の手がさしのべられるまでには時間がかかります。それまでは自分たちの力で乗り切らねばなりません。

いずれに致しましても、大きな地震が起きないことを望みますが、起きた場合の準備や対策を普段からしておけばそれに越したことはありません。災害に対する備えは万全であるといってもありすぎることはありません。今一度大災害に対する備えの確認をお願い致します。



故 三浦 恭嗣 会員  
平成23年1月22日(土)ご逝去  
享年60歳

## セントレアの現状と課題

中部国際空港株式会社

取締役会長 平野 幸久様



今、航空業界も空港も大きく変わろうとしている。

JALの破綻は1つの例であるし、よく耳にするLCC（格安航空会社）は従来の業界地図を塗り替えようとしている。空港も同様である。羽田空港が国際化され、関西空港と伊丹

空港の経営統合が検討されている。アジアを中心として需要が急激に拡大するとの見方もある。更に、航空需要に影響を与えるような出来事、経済危機、異常気象、テロ、疾病、事件が頻繁に発生している。

このような中、中部国際空港セントレアは需要変動にも耐えられるよう企業体質の強化と、状況の変化に迅速に対応する努力を続けている。例えば、セントレアの旅客ターミナルビルは大型機、中型機、小型機がある比率で利用されると想定して作ってある。小型機が増えると小型機用のスポットは不足し、大型機用は遊んでしまう。そこで、小型機が使いやすいターミナルにしよう工夫を凝らしている。また、LCCはサービスとコストの考え方が大手航空会社とは違うので、空港としては種々のオプションを選んでいただけるようにすることが必要であろう。

JALが運航していた路線の多くがその運航を停止した。JALのシェアは、2010年冬季には、国際線で13%、国内線で19%に落ちてしまった。一方、全日空、スカイマークや外国航空会社は新規就航や増便をしてくれている。厳しい環境の下で新規就航や増便となった路線については皆で利用して盛り上げる必要があるし、JALには一日も早い再建を果たしてもらい、復帰を期待したい。

外国人観光客の誘致は地域活性化の有効な手段である。観光庁の試算によれば、外国人観光客7名が日本で使うお金は日本人1人が1年間に使うお金と同等だそうである。この地域には素晴らしい観光資源があると多くの方がおっしゃる。その通りだと思うが、問題は中国や台湾、韓国の方々にそう思ってもらい、旅行商品に組み込ま

れないことには来ていただけない。皆が協力して認知度向上の活動をしたいものである。セントレアも微力ながら頑張る所存である。

### 1 月度刈谷 RC ゴルフ例会

平成23年 1 月20日(木)

於：三好カントリー倶楽部

成績	氏名	G	H	N
優勝	深谷 稔彦	86	5	81
2 位	萩田 繁	88	7	81
3 位	池田 憲司	105	23	82
B B	霜出 俱弘	133	25	108

